



息栖にぎわいテラス

いよいよオープン！神栖の食から特産品まで勢ぞろい



1



2

3

1.江戸時代の茶屋が並び息栖の街並みと、旧柏屋旅館をモチーフにした外観 2.食事を楽しみながら夕日を眺めることができる「ゆうひ食堂」 3.一の鳥居が間近に見える「眺望テラス」 4.ゆったりとした時間を過ごせる「おいしいカフェ」 5.太い梁が屋内から屋外の軒下まで張り出す「せがい造り」



5



4

息栖神社とその周辺が、歴史や地域の魅力を見つめなおす拠点として、新しい顔を見せています。今回は息栖神社と、完成したばかりの「息栖にぎわいテラス」を訪ねました。新鮮な発見が盛りだくさんです。

歴史と人に寄り添う息栖神社

鎮守の森の静けさと清浄な空気に包まれた息栖神社。遠い昔から地域の人の由来ともなった由緒ある神社です。近年、息栖神社・鹿島神社・香取神宮を巡る東国三社詣のブームが再来し、県内外から大勢の参拝客が訪れています。

改修を終えたばかりの神門は朱色も鮮やかで、参道を進むと、昨年建て替えた新社務所が目に入ります。この息栖神社を守り、大切な年中行事を代々受け継いできたのが、氏子総代会の皆さんです。会長の猿田信守さんに最近の息栖神社の様子を尋ねました。



柏屋旅館



猿田信守会長

「新社務所や神門の改修の他にも、駐車場周りや外灯の整備、鳥居の洗浄などをおこないました。また、参拝客の増加に伴い、スタッフも増員しています。東国三社詣は、1度きりでなく2度3度といらっしゃる方が多く、年齢層も20代から40代の若い世代やお子さん連れもたくさんお見えになるんですよ。皆さん、境内の自然に癒やされる、空気が気持ちよいとおっしゃってくださいます。私たちは参拝客に寄り添う神社であることを心がけており、気さくに言葉を交わし、御朱印もすべ



て手書きで対応しています

近年は息栖神社周辺の整備計画によって、二の鳥居から一の鳥居へ向かう参道沿いに息栖にぎわいテラスが建つなど、付近の風景が様変わりしています。

「実は東国三社詣の参拝客は、鹿島神宮や香取神宮には2時間ほど滞在されるのに対し、息栖神社の滞在は15分から30分ほどです。参拝客から、神社の近くに休憩や買い物ができる場所がないか質問されることも多いので、息栖にぎわいテラスが完成し、おすすしめしやすくなるかもしれませんね」

伝統文化を継承し、癒やしの場としての息栖神社を守り続けることが、猿田さんたち氏子総代会の願いです。

息栖にぎわいテラスがオープン

息栖神社周辺の整備は令和4年に始まり、今年10月1日に拠点施設である息栖にぎわいテラスのオープンを迎えました。石畳風に舗装された参道は、ゆとりを持って歩ける道路幅を確保。息栖神社から一の鳥居に向かって歩くと、旧柏屋旅館跡地に建つ木造建築が姿を見せます。息栖にぎわいテラスの外観は、太い梁が

「おいしいカフェ」で味わう新作のオリジナルコーヒー

船溜まりに近い1階西側には、一の鳥居の両脇にある忍潮井から名付けた「おいしいカフェ」があります。ガラス張りの開放感あふれる空間で、ここでは神栖市PR大使でパリスターの信太美月さんがブレンドしたオリジナルコーヒーを味わうことができます。



信太美月さん (プロフィール) 神栖市出身。パリスタ歴10年以上。東京・原宿のカフェ[LATTEST HARAJUKU]でマネージャーを務めながら、モデルとしても活躍するマルチタレント。さらに自身のコーヒーブランド「B.moon Coffee Roaster」では焙煎士としても活動し、豆のセレクトから焙煎までを手がける。テレビ出演など多岐にわたる活躍のほか、SNSでも多くのフォロワーがあり、若年層を中心に支持されている。